

# 職員行動計画書

【平成30年度】

科名	薬剤科	総括責任者	科長	高田 みゆき
—	—	—	—	—

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①適正かつ経済的な薬物使用に寄与します。
- ②院外薬局との連携を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
定数配置している薬剤の薬価一覧表を作成し病院メニューに表示する	薬剤師	一覧表を作成する	作成する	実施済	B	なし	(なし)
定数配置された高額な薬剤の請求は、使用患者がわかるような請求方法へ変更する	薬剤師、看護師	薬品請求伝票に使用患者のわかる方法を検討し、実施する	導入する	外来部門でトライアルを実施	B	なし	(なし)
院外薬局の質を向上させるために、乳癌の講習会を開いてゆく	薬剤師、乳腺外科	院外薬局と講習会を開催する	年間1回以上	8回	S	1回	(なし)

## II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

薬の正しい服用を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
服薬指導(入院患者薬剤管理指導、入院患者退院時薬剤情報管理指導)の実施	薬剤師	服薬指導算定件数(入院服薬指導算定件数+退院指導算定件数)	10,500件	11,899件	B	11,447件	(なし)
地域住民向け講演会の開催	薬剤師	公民館での講演回数	年1回	2回	S	1回	情報発信件数

## III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①薬品購入費の削減に努めます。
- ②服薬指導の積極的な実施により収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
後発品への切替え推進	薬剤師	後発品の切り替え率	90%以上	94.3%	B	91.5%	後発医薬品の使用割合
服薬指導(入院患者薬剤管理指導、入院患者退院時薬剤情報管理指導)の実施	薬剤師	服薬指導算定件数(入院服薬指導算定件数+退院指導算定件数)	10,500件	11,899件	B	11,447件	医業収支比率

# 職員行動計画書

【平成30年度】

科名	薬剤科	総括責任者	科長	高田 みゆき
—	—	—	—	—

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

院内職員に学習の機会を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
医薬品安全管理研修会の開催	薬剤師	講義回数	年間1回	1回	B	1回	(なし)

## Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会発表など学術活動の充実を図ります。
- ②情報発信により、地域貢献に取り組めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会発表	薬剤師	発表回数	年4回	7回	S	7回	学会及び論文研究発表件数
地域住民向け講演会の開催	薬剤師	公民館での講演回数	年1回	2回	S	1回	講座及び講演数
実習生を受け入れる	薬剤師	受け入れ人数	2人	2人	B	1人	学生実習受入人数

# 職員行動計画書

【平成30年度】

科名	放射線技術科	総括責任者	科長	石川 修二
—	—	副責任者	科長代理	河並 昭彦

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①地域医療で、医療機器の共同利用を推進します。
- ②27年度医療法改正による放射線技師業務拡大を受け、抜針可能者を育成し認定資格者を増やし安定的に実業務に生かします。(医師、看護師への業務軽減、及び検査時間短縮)
- ③高精度治療のSRTを推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
医療機の委託検査推進(CT、MR、RI)	放射線技師、病診連携室、放射線診断部	検査数	1,500件以上	1,873件	A	1,794件	紹介率・逆紹介率
27年度医療法改正に伴う業務拡大(抜針業務)	放射線技師	延べ認定試験合格者	12名	14名	B	10名	(なし)
高精度治療SRTの推進	治療部医師 放射線技師	患者数	35件	38件	B	30件	(なし)

## II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①救急センターからの検査依頼対応能力の強化を図ります。
- ②サービス部会からの患者の声を科内で検討し技術科職員の待遇向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
救急センターからのCT脳血管動態撮影対応	放射線技師	日当直対応技師の習熟率	100パーセント	100パーセント	B	80パーセント	(なし)
サービス部会からの患者の声から苦情がないよう、技術科職員の待遇向上	放射線技師	科内会議での検討回数	年3回	年3回	B	なし	(なし)

## III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①土曜、日曜のMR委託検査を定着させ、検査数を維持することで収入を安定させます。
- ②新システムに協力し、接続等費用の削減に協力し、移行時の問題を最小限にします。
- ③診断部の画像診断管理加算2取得体制に協力できるよう技術科業務の画像処理体制を強化します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
MR委託検査数	診断部、放射線技術科、病診連携室	MR委託検査数	前年度比1.2倍	696件	C	703件	医業収支比率
専従治療技師体制の維持	放射線技師	現状の加算体制の維持	現状の加算体制の維持	現状の加算体制の維持	B	現状の加算体制の維持	医業収支比率
RI検査の脳血流IMP導入、安定稼動	神経内科脳外科 放射線技師	検査数	25件	19件	C	19件	医業収支比率

# 職員行動計画書

【平成30年度】

科名	放射線技術科	総括責任者	科長	石川 修二
—	—	副責任者	科長代理	河並 昭彦

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①院外講習会などに積極的に参加し専門知識の向上に努めます。
- ②業務充実のため専門資格の取得、保持、更新に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
外部、各学会、講習会参加数	放射線技師	延べ参加人数	延べ50人	98人	S	延べ87人	(なし)
各学会専門資格取得、保持更新への取組	放射線技師	有資格者数	延べ24人	26人	B	延べ23人	有資格者数

## Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①学会 講習会での学術活動の充実を図ります。
- ②放射線技師学校の臨床実習の学生を育成します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
各学会、各講習会発表数	放射線技師	発表数	年5回	13回	S	9回	学会及び論文研究発表件数
放射線技師学校の臨床実習受け入れ	放射線技師	人数	年2人	2人	B	2名	学生実習受入人数

# 職員行動計画書

【平成30年度】

科名	臨床工学科	総括責任者	科長	熊澤 義雄
—	—	副責任者	主任医療技師	中西 利基

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①質の高い高度医療機器を提供します。  
②業務の質と効率の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
医療機器を安心して使用できる質の高い保守点検体制の構築	臨床工学技士	ME機器点検件数	前年度5.0%増	15,246件(31%増)	A	11,636件	(なし)
主要臨床業務マニュアルの改訂と業務(手技)の統一化	臨床工学技士	マニュアルの改訂数	2件	3件	S	3種類	(なし)

## II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①断らない治療を実現する臨床工学技術を提供します。  
②最先端の情報を取得し現場に還元します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
非透析日を緊急的に開放し対応する	臨床工学技士	非透析日の対応率	100%	100%	B	100%	(なし)
血液浄化法の説明資料作成	臨床工学技士	作成した資料の種類	3種類	3種類	B	—	(なし)

## III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①職員のコスト意識の向上に努めます。  
②コストの見える化を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
透析室におけるコスト意識の向上	臨床工学技士	血液浄化器の購入単価削減	昨年度比3%削減	—	B	—	診療材料費対医業収益比率
使用物品のコストのリスト化	臨床工学技士	作成したリストの種類	3種類	3種類	B	—	診療材料費対医業収益比率

# 職員行動計画書

【平成30年度】

科名	臨床工学科	総括責任者	科長	熊澤 義雄
—	—	副責任者	主任医療技師	中西 利基

## IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療機器の安全な使用方法を学ぶ機会を提供します。
- ②勉強会/学会へ参加し、職員のレベルUPを図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
医療機器安全研修会(勉強会)の開催	臨床工学技士	開催回数	10件	14件	A	12回	(なし)
医療機器安全研修会(勉強会)のeラーニング化	臨床工学技士	eラーニング化件数	3件	3件	B	2件	(なし)
院外研修会・学会への参加	臨床工学技士	参加回数	年間2回	年間3回	S	年間2回	(なし)

## V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①臨床工学を目指す学生の育成に貢献します。
- ②研究発表などの学術活動の充実を図ります。
- ③近隣市立病院と連携します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
臨床工学を目指す学生の育成に貢献	臨床工学技士	受入人数	9名	13名	A	9名	学生実習受入人数
学会研究発表	臨床工学技士	発表数	2回	4回	S	1回	学会及び論文研究発表件数
近隣市立病院との研修会の実施	臨床工学技士	実施回数	2回	2回	B	3回	(なし)

# 職員行動計画書

【平成30年度】

科名	臨床検査科	総括責任者	科長	石田 博昭
—	—	—	—	—

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

チーム医療に積極的に参加し、多職種と連携を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
医療安全	医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハ技師	開催数(参加)	2回以上/年	1.2回/年	D	2回以上/年	(なし)
ICT	医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、臨床検査技師、リハ技師	開催数(参加)	2回以上/年	2回/年	B	2回以上/年	(なし)
乳腺カンファレンス	医師、看護師、視能訓練士、眼科診療助手、医療事務	開催数	毎月1回	9回	C	12回	(なし)

## II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんが快適に受診できる環境を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
採血の立ち待ち人数をゼロにする	検査技師	採血の立ち待ち人数をゼロにする	立ち待ち人数をゼロにする	席が空いていても座らない方もいれば、付き添いです。と言って立っている方もいた。	B	-	(なし)

## III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員の意識向上に努め、コスト削減を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
委託業務料の見直し	検査技師、病院総務課	委託業務料の削減	前年度比5%の削減	-	A	-	診療材料費対医業収益比率
業務の効率化による時間外勤務の削減	検査技師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比3%の削減	6.75時間	B	7.05時間	職員給与対医業収益比率

# 職員行動計画書

【平成30年度】

科名	臨床検査科	総括責任者	科長	石田 博昭
—	—	—	—	—

## IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

様々な場に積極的に出席し、職員の能力向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
他部門主催の研修への参加	検査技師	参加数	1人あたり5回	1人あたり4.2回	C	1人あたり4.8回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
周囲の病院で症例検討会への参加	検査技師	参加数	1人あたり3回	2回	D	1人あたり2回	(なし)
地域技師会への参加	検査技師	参加数	1人あたり3回	1人あたり0.8回	D	1人あたり2回	(なし)
資格の取得	検査技師	人数	2人	5人	S	0人	(なし)

## V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 将来を担う人材の育成に貢献します。
- ② 学術活動の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
臨床検査学科を有する学校からの実習生の受け入れ	検査技師	人数	3人	3人	B	3人	学生実習受入人数
研究発表	検査技師	発表数	1回/年以上	0回	D	1回	学会及び論文研究発表件数



# 職員行動計画書

【平成30年度】

科名	栄養科	総括責任者	科長	磯谷 誠
—	—	副責任者	科長代理	古屋 久美子

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①地域医療・福祉栄養部門の連携に取り組めます。  
②リーダー的役割のあるチーム医療の充実に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
地域医療・福祉栄養士研修会の実施	管理栄養士	開催数	年1回	0回	D	1回	(なし)
NST(Nutrition Support Team)研修会の実施	医師、看護師、管理栄養士、薬剤師、言語聴覚士、臨床検査技師	開催数	年5回	5回	B	5回	(なし)

## II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんに快適な療養環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
妊産婦食の充実	栄養士、調理師	分娩件数(周産期センターに対する患者満足度)	前年比10%増	447件	C	486件	分娩件数
病院ホームページ、栄養科関連の更新	管理栄養士	更新回数	2回	3回	S	1回	情報発信件数
院内(栄養相談室前)栄養関連情報掲示の実施	管理栄養士	掲示回数	4回	4回	B	掲示板未設置	情報発信件数

## III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員のコスト、経営への参加意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
食材料費削減、廃棄食材削減にむけた取組	栄養士、調理師	食材廃棄量	前年比3%減	8.4kg	B	10.3kg	医業収支比率
食器紛失数削減	栄養士、調理師	紛失食器相当額	400,000円	206,030円	A	259,740円	医業収支比率
食事療養費コストの提示	管理栄養士	提示件数	3項目	1項目	D	0項目	入院診療単価
栄養指導件数増加	医師、看護師、管理栄養士	栄養指導件数	3,400件	3,622件	B	3,280件	医業収支比率

# 職員行動計画書

【平成30年度】

科名	栄養科	総括責任者	科長	磯谷 誠
—	—	副責任者	科長代理	古屋 久美子

## IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①病院運営を理解するため、院内研修会に積極的に参加します。
- ②業務充実のための専門資格の取得に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への参加	管理栄養士	参加数	1人あたり6回	1人あたり7.1回	B	8.6回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
専門資格取得、保持、更新への取組	管理栄養士	人数	延10名	延13名	A	延12名	有資格者数
科内症例検討会の実施	管理栄養士	開催数	12回	12回	B	12回	(なし)

## V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療分野で活躍できる管理栄養士・学生の育成に努めます。
- ②地域住民へ健康な食生活情報の発信に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
臨床栄養学実習受け入れの実施	管理栄養士	人数	年10名	10名	B	10名	学生実習受入人数
県、地域栄養関連団体における役員の受任	管理栄養士	件数	年3名	3名	B	3名	(なし)
疾病予防の食生活に関する出張、院内講座	管理栄養士	開催数	年2回	3回	S	2回	講座及び講演数
栄養の日(8/4)イベント開催	管理栄養士	開催数	年1回	1回	B	0回	社会貢献活動の実施数

# 職員行動計画書

【平成30年度】

室名	医療安全管理室	総括責任者	室長	奥貫 由美
—	—	—	—	—

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

安全で質の高い医療を提供する環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
リスク管理を推進する	部門医療安全管理者・医療安全推進者・医療安全管理委員会委員・セーフティマネージャー・医療安全管理室担当者	アクシデント・インシデントレポート報告レベル3以上報告比率	(レベル3以上)報告比率1.75%以内	レベル3以上報告比率 1.63%	B	なし	(なし)

## II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

院内医療事故の発生を防止するよう努め、患者さんが安心して受診、療養できる環境を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
予防接種用薬剤請求業務のシステム化を図る	薬剤科医療安全担当者、外来師長、看護師、小児科外来看護師、医療安全管理室	薬剤請求業務システムの構築	システムの策定	システム策定	B	なし	(なし)
レベル3b以上のアクシデントの発生比率が前年度以下になるようにインシデント報告の比率と再発防止策の提案に努める	部門医療安全管理者、医療安全推進者、医療安全管理委員会委員、セーフティマネージャー、医療安全管理室担当者	アクシデント・インシデントレポート報告レベル3以上報告比率	(レベル3以上)報告比率1.75%以内	レベル3以上報告比率 1.63%	B	なし	(なし)
		再発防止策の提案	2種	4種	S	4種類	(なし)

# 職員行動計画書

【平成30年度】

室名	医療安全管理室	総括責任者	室長	奥貫 由美
—	—	—	—	—

## Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

5S活動の定着化を図り、職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
5S活動を通じた改善による効率化の推進	セーフティマネージャー、セーフティスタッフ、医療安全管理室	定数薬剤の不動在庫見直し	1回実施	1回実施	B	なし	薬品費対医業収益比率
5S活動を通じた改善による効率化の推進	セーフティマネージャー、セーフティスタッフ、医療安全管理室	薬品ストック品の削減	前年度比1%減	総数1998本 (前年度約23.5%減)	A	20%削減 2,615本	薬品費対医業収益比率

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い医療を提供するために、医療安全体制を理解するための研修会に参加できる環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
医療安全研修会の開催	医療安全管理室、医療安全担当者会	開催回数	12回／年	12回	B	11回開催	(なし)

## Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

地域の中核病院として、医療の安全に関する情報の提供に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
地域医療機関の医療者の研修参加を支援する	医療安全管理室、病診連携室担当者	研修開催数	1回開催／年	1回	B	1回開催	講座及び講演数

# 職員行動計画書

【平成30年度】

室名	病診連携室	総括責任者	室長	小出 隆司
—	—	副責任者	主査	白子 嘉威

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

地域医療連携の充実と指導的役割を果たします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
地域医療連携登録医との連携会企画	医師、事務職	開催回数	2回(5.11月)	1回	D	1回	紹介率・逆紹介率
連携医療機関への訪問(湘南西部医療圏以外も訪問し、登録医増やす)	事務職、医師、看護師、MSW、PSW	年間日数	80日	71日	C	139日	紹介率・逆紹介率
地域の医療従事者向け研修企画	医師、事務職	OpenCancerBoardまたはオープンカンファレンスの企画	年2回以上	2回	B	1回	紹介率・逆紹介率
クロスピッチ有効活用	事務職、医師、看護師	繋がりがやすく使いやすいインフラ整備へ	携帯電話化或いは固定電話化へ	変更できず(繋がりにくいとのクリニックからの御意見19件)	D	-	紹介率・逆紹介率

## II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

医療機能分化の啓発・広報活動を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
病院広報誌「SMILE!」紙面上での医療機能分化啓発記事の掲載	事務職	紙面掲載回数	1回以上/年	2回(23号で2回)	S	1回	(なし)
病院ホームページ連携室ページの更新	事務職	更新回数	2回以上/年	5回	S	4回 6.7.10.11月に更新	情報発信件数

## III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

ベッド稼働率について、スタッフひとりひとりが経営参画を意識します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
クリニックや病院からの入院適応患者をスムーズに受け入れ調整しベッド稼働率に貢献します	事務職	①当日紹介受付件数 ②入院受入相談件数	①290件(月24件) ②40件(月3.3件)	①148件(月12件) ②42件(月4件)	C	①286件(月24件) ②41件(月3件)	病床利用率

# 職員行動計画書

【平成30年度】

室名	病診連携室	総括責任者	室長	小出 隆司
—	—	副責任者	主査	白子 嘉威

## IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

室内スタッフの能力向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
室内における個人情報保護・情報セキュリティ対策の意識向上	事務職	外部研修の受講回数	年1回(5人全員)	(常勤)3回	D	嘱託3名+常勤2名各1回ずつ外部研修受講	(なし)
職場環境改善について提案する。(ボトムアップ・職員満足度向上)	事務職	所属長との面談による、改善提案件数	年1件以上	2件	S	面談時に2件	(なし)

## V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

地域医療支援病院・がん診療連携指定病院として、地域において指導的役割を果たします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
小中学生むけのがん教育 平塚市役所の教育指導課と実施に向けた検討	事務職	協議回数	年2回以上	1回	D	2回(教育総務課、県のがん疾病対策と相談)	(なし)

# 職員行動計画書

【平成30年度】

科名	退院支援・医療相談室	総括責任者	室長	宮崎 宏道
—	—	副責任者	室長代理	女屋 早苗

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

地域に根ざした急性期・救命医療の実施を果たすために、地域医療連携を推進します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
急性期病院としての役割を果たすために当室が介入するケースの平均入院期間が短くなるよう入退院支援の仕組みを作る	退院調整看護師 MSW 病棟看護師、医師	当室介入ケースの平均入院期間	31日	31日	B	2015年35.9日 2016年35.5日 2017年(12月まで)32.7日	(なし)
訪問看護師や地域包括支援センターと情報を共有のためのミーティングを実施する。	退院調整看護師 MSW	開催数	2回	0回	D	0回	紹介率・逆紹介率
地域で行われる退院支援に関連する会議(医療介護連携推進協議会、神奈川県中西部病院MSW連絡会、地域連携診療計画にかかる合同委員会)会議に出席する。	退院調整看護師 MSW	出席数	6回	6回	B	6回	(なし)

## II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

後方連携機関と緊密に連携を図り、患者様・ご家族が安心・満足して次の療養場所に移行できるよう支援します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
9月頃までに患者様・ご家族が安心して入院し、退院後の生活に速やかに移行できる仕組みを作る。	医師、病棟看護師、MSW、退院調整看護師	入退院支援加算算定数 入院時支援加算算定数	20件/月 20件/月	入退院支援加算平均46.3回/月 入院時支援加算未実施	B	14件/月(コスト上) 25件/月(全件数)	(なし)
後方連携機関に関して、より具体的な説明を患者様・ご家族に行えるよう後方連携機関と面談し、情報を共有する。	所属職員全員	面談件数	延60施設 20施設×3回	60施設と延104回面談 20施設×年3回 4施設×年2回 36施設×年1回	S	延42施設	(なし)
10月～11月の2ヶ月間に当室が対応したケースにアンケートを実施し、患者様・ご家族に開かれた退院支援・医療相談室をつくる。	所属職員全員	アンケート回答件数	30件	配布96枚 回収77枚	S	約50日で18件	(なし)

# 職員行動計画書

【平成30年度】

科名	退院支援・医療相談室	総括責任者	室長	宮崎 宏道
—	—	副責任者	室長代理	女屋 早苗

## Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

必要な指導を適切に実施することで収入を確保します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
入院時支援加算、退院支援加算を算定する。	所属職員全員 看護部	入退院支援加算算定数 入院時支援加算算定数	20件/月 20件/月	入退院支援加算 平均46.3回/月 入院時支援加算 未実施	B	14件/月(コスト上) 25件/月(全件数)	医業収支比率
患者様・ご家族の思いや意志決定を尊重して介護支援連携指導実施する。	医師、病棟看護師、MSW、退院調整看護師 その他コメディカル	連携指導開催件数	10件/月	平均15.7件/月	S	9.6件/月	医業収支比率
地域で必要なサービスが受けられ、その人らしく生活ができるように退院時共同指導を実施する。	医師、病棟看護師、MSW、退院調整看護師、 その他コメディカル	共同指導開催件数	10件/月	平均13.1件/月	A	7.5件/月	医業収支比率

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

院内外の研修に積極的に参加し、地域における病院の役割を理解し、職員としての知識・スキルを高めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
院内外主催の研修に参加する。	所属職員全員	参加数	5回/年	平均10回/年 5回/年:1名 6回以上/年:11名	S	1名:3回 7名:5回以上	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
院内スタッフの地域連携に関する知識を高められるような研修を企画する。(療養型病院や回復期リハ病棟、自宅療養についてなど、それぞれの施設の医師や相談員を講師にお迎えしたい)	所属職員全員	開催数	2回/年	2回/年 7/24Web研修開催 7/31訪問看護師による研修	B	0回	(なし)

## Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

地域包括ケアシステムについて周知活動を行います

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
地域包括ケアシステムや地域連携に関心のある実習生や研修生の受け入れ	退院調整看護師 MSW	実習・研修機関数	2団体	2団体17名を受け入れ	B	平塚看護大学校 神奈川県看護協会	学生実習受入人数



# 職員行動計画書

【平成30年度】

課名	経営企画課	総括責任者	課長	相澤 史幸
—	—	—	—	—

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①平塚市民病院将来構想を着実に推進します。
- ②適正な病院会計業務を遂行するとともに、定期的に経営収支状況を報告します。
- ③院内への将来構想の理念の浸透に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
経営戦略に対するKPIの進捗状況を自己点検及び平塚市病院運営審議会の外部点検による適切な監理	事務職	進捗点検の実施	年2回	2回	B	1回	(なし)
職員行動計画の策定及び進捗管理	事務職	進捗点検の実施	年2回	2回	B	1回	(なし)
財務データに基づく出納状況の随時把握と財務諸表の定期的な作成	事務職	翌月末を期限に提出	年12回	12回	B	12回	(なし)
市議会等へ定期的な経営収支状況の報告	事務職	翌々月上旬に提出	年12回	12回	B	12回	(なし)
行動計画策定プロジェクトチームの設置及びワークショップHCHの運営管理	事務職	次年度のテーマ別「年度戦略」及び「主な行動計画」の提案	完了	完了	B	完了	(なし)

## II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①データ分析により、業務改善や職場環境の活性化を推進します。
- ②患者、市民に対して、積極的に情報を発信します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
病院や各部署の特徴、弱点、傾向を分析し、経営幹部や現場へ還元	事務職	分析報告	年4回	9回	S	7回	(なし)
院内での市民健康講座の開催	医師、看護師、医療技術職、事務職	開催回数	年6回	9回	S	3回	情報発信件数
病院広報誌「SMILE！」の発行	医師、看護師、医療技術職、事務職	発行回数	4回	4回	B	4回	情報発信件数
ホームページの充実	医師、看護師、医療技術職、事務職	ホームページアクセス数	20,000回/月	21,746回/月	B	18,789回/月	情報発信件数
疾患説明書の作成	医師、看護師、医療技術職、事務職	疾患説明書の作成	完了	完了(3種類)	B	-	(なし)

# 職員行動計画書

【平成30年度】

課名	経営企画課	総括責任者	課長	相澤 史幸
—	—	—	—	—

## Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①事業運転資金を確保します。  
②経営健全化のため、経営改善を実施します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
データ分析から、各診療科の収益確保及びコスト削減策の提案	事務職	提案件数	年3件	3回	B	7回	経常収支比率
現金・預金残高の常時把握と、必要に応じた関係部署との調整及び資金調達	事務職	現金預金残高の増加	前年度末以上	1,613,567千円	B	1,323,601千円	現金預金残高

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

院内外の研修に積極的に参加することで、職員の能力向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
経営マネジメント全般、職員行動計画の策定やデータ分析に関する研修会等への参加	事務職	研修会等への参加	年1回以上	2回	S	5回	(なし)
経理知識の向上を図るための研修会等への参加	事務職	研修会等への参加	年1回以上	1回	B	1回	(なし)
医療情報システムの知識、IT技術を深めるため、システム更新や保守、新技術等の情報収集	事務職	研修会等への参加	年1回以上	3回	S	1回	(なし)
広報知識を深めるための研修会等への参加	事務職	参加数	年1回以上	1回	B	-	(なし)
院内研修会への参加	事務職	参加数	1人当たり5回	1人当たり4.1回	C	4.8回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

## Ⅴ 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①持続的な病院の健全経営により、公立病院が担うべき役割を果たします。  
②病院経営の透明性の向上を図ります。  
③患者、市民に対して、積極的に情報を発信します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
病院や各部署の特徴、弱点、傾向を分析し、経営幹部や現場へ還元【再掲】	事務職	分析報告	年4回	9回	S	7回	(なし)
将来構想の進捗状況の公表	事務職	公表回数	年2回	2回	B	1回	(なし)
院内での市民健康講座の開催【再掲】	医師、看護師、医療技術職、事務職	開催回数	年6回	9回	S	3回	講座及び講演数

# 職員行動計画書

【平成30年度】

課名	病院総務課	総括責任者	課長	伊藤 良一
—	—	副責任者	担当長 担当長	高梨 一広 佐草 哲也

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

高度医療器械等の整備を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
効率的な医療器械等の購入	医師、医療技術者、 看護職、事務職	B評価医療器械等の購 入の有無	有	有	B	有	(なし)

## II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんに快適な施設環境の提供に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
患者さんからの施設に関する意見への丁寧な 対応	事務職	満足度調査(施設面) の満足度	施設面各項目にお いて前年度の平均 点以上	入院4.0 外来3.7	C	入院4.1 外来3.7	(なし)
計画的な施設改善	事務職	経年劣化箇所の調査	経年劣化箇所リ スト作成	本館のみリスト 作成	C	リスト未整備	(なし)
全員コンシェルジュを推進するため、患者さん 及び病院利用者へのあいさつを積極的に行い ます。	事務職	「利用者の声」による高 評価	2件	0件	D	0件	(なし)

# 職員行動計画書

【平成30年度】

課名	病院総務課	総括責任者	課長	伊藤 良一
—	—	副責任者	担当長 担当長	高梨 一広 佐草 哲也

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

薬品費、診療材料や職員給与費の削減に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
薬剤メーカーや卸に対する価格交渉	薬剤師、事務職	特別交渉開催数	2回	3回	S	2回	薬品費対医業収益比率
診療材料メーカーや卸に対する価格交渉	事務職	特別交渉開催数	2回	2回	B	3回	診療材料費対医業収益比率
事務効率化による時間外勤務の削減	事務職	1人当たり時間外勤務時間数(月)	平成29年度比10%削減	42.16時間	C	41.54時間	職員給与費対医業収益比率
効率的な医療器械等の購入【再掲】	医師、医療技術者、看護職、事務職	B評価医療器械等の購入の有無	有	有	B	有	(なし)

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度(やりがい度)の獲得(職場環境、研修・教育、評価と処遇改善)
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

院内研修会に積極的に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
事務職向け院内研修会への参加促進	事務職	事務職向け院内研修会参加回数	1人当たり5回	1人当たり3.7回	C	1人当たり4回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献(災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など)
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

エコモードを推進するとともに、病院周辺の良い環境づくりに努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
昼休みにおける照明及びパソコンの節電	事務職	消灯率及びパソコンスリープ率	100%(支障のない範囲)	ほぼ100%	B	ほぼ100%	社会貢献活動の実施数
病院周辺の清掃ボランティア(昼休み)	事務職	清掃回数	延べ72回 2回×12月×3人	12回	D	延べ30回	社会貢献活動の実施数

# 職員行動計画書

【平成30年度】

課名	医事課	総括責任者	課長	田丸 勝巳
—	—	副責任者	課長代理兼担当長 担当長	田邊 高 守屋 正彦

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

地域のニーズに応える安全な医療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
新規クリニカルパスの導入(中止は含めない)	事務職	新規パスの作成	5種類増加	5種類増加	B	4種類増加	(なし)
医療事務委託業者との定期的な会議による精度の向上	事務職	会議開催数	月1回	月1回	B	毎月1回	(なし)

## II 患者満足度の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①満足していただける医療(政策的医療)を提供します。  
②患者さんからの意見を目に見える形で改善していきます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
患者満足度調査の実施	事務職	実施回数	年1回	年1回	B	1回	(なし)
待ち時間調査の実施	事務職	実施回数	年1回	年1回	B	1回	(なし)
院内コンサートの実施	事務職	実施回数	年3回	年3回	B	2回	(なし)
利用者の声の実現	事務職	実現件数	3件実現	2件	D	10件実現	(なし)

# 職員行動計画書

【平成30年度】

課名	医事課	総括責任者	課長	田丸 勝巳
—	—	副責任者	課長代理兼担当長 担当長	田邊 高逵 守屋 正彦

## Ⅲ 経営・財務の視点 【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①施設基準の取得を推進します。  
②コスト意識を持って経営に参画します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
新規施設基準の取得	事務職	件数	5件	11件	S	9件	入院診療単価
委託業者への収益診断及び精度調査実施の促進	事務職	回数	年4回	年4回	B	1回	医業収支比率
現年度未収金額	事務職	金額	前年度比3%減	54.2%増 (33,453千円余増)	D	64,996千円 (8.6%減)	医業収支比率
契約内容の精査による医療事務委託料の抑制	事務職	金額	H31年度委託料をH29年度比で5%減	13%増	D	増減なし	医業収支比率
その他の費用の増額検討	事務職	増額件数	1件	1件	B	1件	医業収支比率

## Ⅳ 職員の学習と成長の視点 【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①「人」としての質と「組織」としての質を高めることができる風土づくりを推進します。  
②委託業者への研修をします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
院内及び院外の研修会に参加	事務職	件数	1人につき年5回	1人につき年7.5回	S	7回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数
委託業者との研修等	事務職	件数	月1回	月1回	B	月1回	(なし)

## Ⅴ 社会貢献の視点 【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

積極的に地域活動や人材育成などの社会貢献活動に参加協力します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
救急救命士病院実習受入人数	事務職	人数	毎年55人以上 (WK隊は月3人計算)	84人	S	65人	社会貢献活動の実施数

# 職員行動計画書

【平成30年度】

室名	改築推進室	総括責任者	室長	二之宮 秀勇
—	—	副責任者	室長代理	野上 正志

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

高度な医療を支える医療機器更新に必要な既存施設改修に関する助言を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
既存施設改修を伴う医療機器更新への助言	事務職	助言回数	1回	1回(MRI)	B	2回(アンギオ、 アンブルピッ カー)	(なし)

## II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者や地域住民への情報発信を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
「建設だより」の発行	事務職	発行回数	年3回	3回(6月、11月、 2月)	B	年3回	(なし)

## III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員のコスト意識の向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化による時間外勤務の削減	事務職	1人当たり時間外勤務 時間数(月平均)	前年度5%削減	12.42時間	B	14.83時間	職員給与対医業 収益比率

# 職員行動計画書

【平成30年度】

室名	改築推進室	総括責任者	室長	二之宮 秀勇
—	—	副責任者	室長代理	野上 正志

## IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

病院運営を理解するため、院内研修会等に積極的に参加します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
院内研修会への参加	事務職	参加回数	年5回/人	年4.3回/人	C	4.9回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

## V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

病院の50周年記念とグランドオープンを記念し、病院事業について広く情報を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
50周年記念誌の作成	事務職	記念誌の作成数	1冊	1冊	B	-	(なし)
50周年記念式典の開催	事務職	式典の開催回数	1回	1回	B	-	(なし)



# 職員行動計画書

【平成30年度】

室名	災害医療企画室	総括責任者	室長	宮崎 宏道
—	—	副責任者	副室長	山中 享子

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

災害拠点病院として機能の向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
災害対応医療訓練の実施	所属職員全員	実施回数	1回/年	1回/年	B	1回/年	(なし)
自動参集訓練の実施	所属職員全員	実施回数	1回/年	1回/年	B	1回/年	(なし)
病院消防訓練の実施	所属職員全員	実施回数	2回/年	2回/年	B	1回/年	(なし)
EMIS入力訓練の実施	所属職員全員	実施回数	1回/年	1回/年	B	0回/年	(なし)

## II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

災害時に医療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
災害時に地域に医療を提供	病院職員全員	災害時活動結果		なし		なし	(なし)
地域(南原)防災訓練参加	所属職員全員	参加回数	1回/年	1回/年	B	1回/年	(なし)

## III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

災害時に医療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
BCP(事業継続計画)の検証	所属職員全員	災害対応医療訓練等を実施し検証	1回	1回	B	改定	(なし)
災害対応マニュアルの検証	所属職員全員	災害対応医療訓練等を実施し検証	1回	1回	B	1回	(なし)

# 職員行動計画書

【平成30年度】

室名	災害医療企画室	総括責任者	室長	宮崎 宏道
—	—	副責任者	副室長	山中 享子

## IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①災害医療企画室のメンバーの能力向上を図ります。
- ②病院職員の災害に対する意識の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
学会参加	所属職員全員	参加回数	1回/年	0回/年	D	0回	(なし)
DMAT研修受講	所属職員全員	受講者数	2人	5人	S	0人	有資格者数
災害医療研修の実施	所属職員全員	実施回数	2回/年	1回/年	D	2回	職員向け院内研修会の1人当たりの参加数

## V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ①災害拠点病院として社会に貢献します。
- ②研究活動に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
発災時の医療活動の提供	所属職員全員	災害時の活動結果		なし		なし	(なし)
各種災害訓練参加(地域・県・国)	DMAT	参加回数	2回/年	2回/年	B	2回+中止	社会貢献活動の実施数
ひらつな祭参加	所属職員全員	参加回数	1回/年	0回/年	D	1回	社会貢献活動の実施数
地域災害医療コーディネーターとして活動	医師	活動結果	2回/年	2回/年	B	2回	社会貢献活動の実施数
研究発表	所属職員全員	発表回数	1回/年	0回/年	D	0回	学会及び論文研究発表件数
論文発表	所属職員全員	論文数	1篇/年	0編/年	D	0篇	学会及び論文研究発表件数

# 職員行動計画書

【平成30年度】

科名	感染対策室	総括責任者	室長	山田 健一郎
—	—	副責任者	副室長	石井 美千代

## I 医療の質と効率の視点

【将来構想】54～55ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供 地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 医療関連感染の発生状況を把握し感染防止策の検討を行います。  
② 抗菌薬の適正使用を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
耐性菌によるアウトブレイクを防ぐため感染対策の周知徹底を図る	ICT(感染コントロールチーム)	耐性菌によるアウトブレイクの発生数	0件	1件	D	0件	(なし)
感染対策マニュアルを追加・改訂	ICT(感染コントロールチーム)	マニュアル改訂	3種類以上	2種類	D	18種類	(なし)
抗菌薬適正使用支援チーム(AST)の運営と担当医の支援	AST	デエスカレーション率	35%以上	35%	B	約30%	(なし)

## II 患者満足の視点

【将来構想】56～57ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現 患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

### 「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんおよび職員が気持ちよく過ごせるよう、安全で清潔な療養環境を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
清掃ラウンドを実施し清掃状況を改善する	清掃施設管理チーム	実施回数	改善項目 月1件以上	41件/年	S	3項目以上	(なし)

## III 経営・財務の視点

【将来構想】58～68ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

### 「経営戦略」実現のための行動目標

職員ひとりひとりが感染対策を適切に実施できる状況を整え、医療関連感染による入院期間の延長を防ぎます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
院内ラウンドの実施	ICT(感染コントロールチーム)	ラウンド回数	1病棟あたり3回/月	3.1回/月	B	3.1回/月	(なし)
手指衛生の実施状況調査を行い、適切に実施できるよう介入	ICT(感染コントロールチーム)	1患者1日当たりの看護師の消毒実施回数	1患者当たり1日7回以上	10回/日	A	5回以上	(なし)

# 職員行動計画書

【平成30年度】

科名	感染対策室	総括責任者	室長	山田 健一郎
—	—	副責任者	副室長	石井 美千代

## IV 職員の学習と成長の視点

【将来構想】69～70ページ

経営戦略	(ア) 教育	職員の能力向上支援と職員満足度（やりがい度）の獲得（職場環境、研修・教育、評価と処遇改善）
------	--------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 職員の感染対策の知識と技術の向上のため研修会を開催します。
- ② 感染に対する学会や研修などに積極的に参加し、知識を習得し院内外の感染対策に活かします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
全職員対象研修の実施	ICT(感染コントロールチーム)	受講率	90%以上	100%	B	99.00%	(なし)
部門別研修の実施	ICT(感染コントロールチーム)	実施回数	4回以上/年	19回/年	S	22回/年	(なし)
研修会・学会への参加	看護師	参加数	2回以上/年	4回	S	3回/年	(なし)

## V 社会貢献の視点

【将来構想】71～72ページ

経営戦略	(ア) 社会貢献	病院診療外の社会貢献（災害医療、プレホスピタル医療、地域貢献活動、研究活動、学生教育など）
------	----------	---

### 「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 高齢者施設等へ根拠ある感染対策の普及活動を行います。
- ② 市民に向けた講演会を実施し地域での感染対策の向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	H30目標値	H30実績	評価	H29実績	KPI (重要業績評価指標)
感染防止対策加算1を算定している施設と相互評価を行なう	感染対策専従・専任	相互評価実施回数	2回/年	2回/年	B	2回/年	(なし)